

地盤工学会関東支部発表会優秀発表者賞をダブル受賞！

園部俊博君， 嶋倉ちづるさん

2010年11月4～5日に大宮ソニックシティビルで行われた第7回地盤工学会関東支部発表会(Geo-Kanto2010)において、社会環境デザイン工学専攻修士課程の園部俊博君(地盤工学研究室)と嶋倉ちづるさん(コンクリート研究室)が、優秀発表者賞を受賞した。本賞は、学生や若手技術者の優れた講演に対して与えられるものである。

園部君の受賞対象となった研究論文のタイトルは、「浅層地中熱の実態調査」で、鶴飼恵三教授との連名によるものである。本研究は、自然エネルギーである浅層地中熱を空調機などをつないで省エネを実現しようというものである。地下1.5mに水平に配管して地中への放熱量と地中からの集熱量を実験により確かめた。水平配管方式が日本では少ないことや地盤工学における地中熱利用の発展性が認められ、発表方法の評価も高かったことから受賞に至った。

嶋倉さんの受賞対象となった研究論文のタイトルは、「フライアッシュを混合したベントナイトの固化および膨潤特性」で、半井健一郎准教授との連名によるものである。本研究は、放射性廃棄物処分施設の人工バリアとして用いられるベントナイトにフライアッシュを混合することで、性能を向上させるとともに将来の劣化を抑制し、数万年という超長期の安定性を実現しようというものである。フライアッシュという、コンクリート分野で使用されている材料を用いて地盤材料を改質するという、分野横断型の挑戦的な研究への取り組みに加え、分かりやすい発表や的確な質疑応答が評価された。



受賞した二人（左：園部君，右：嶋倉さん）